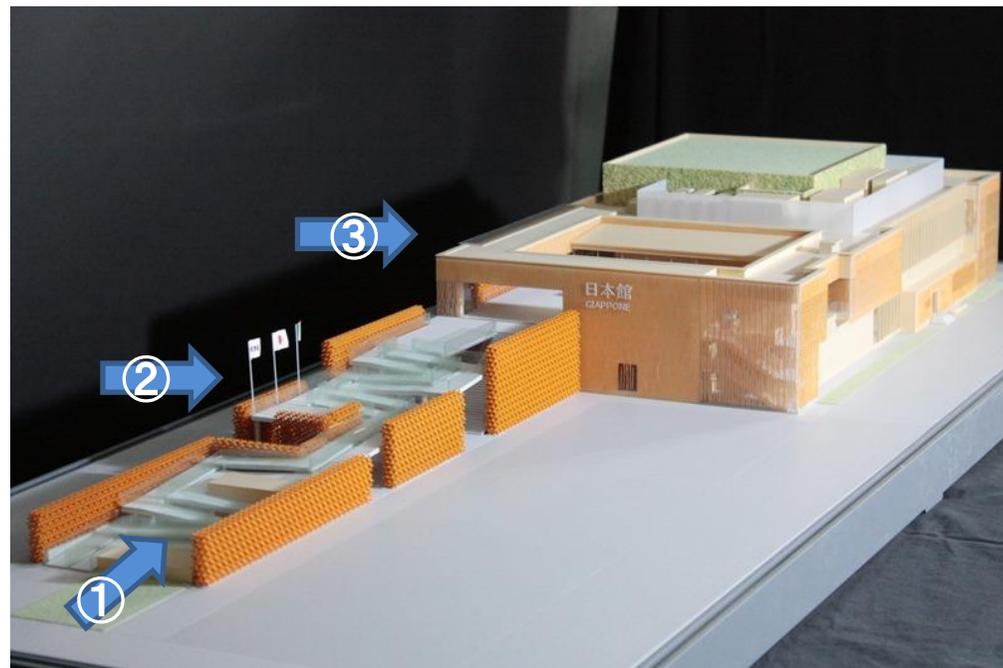


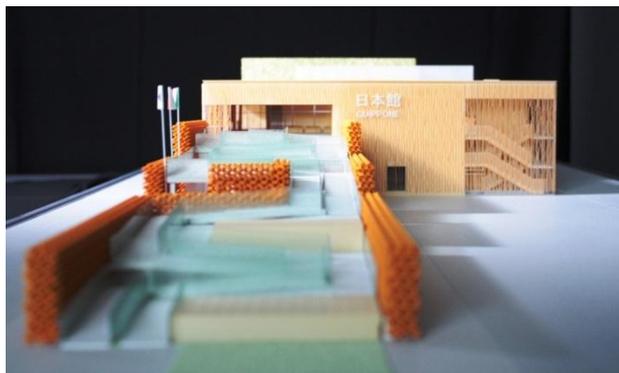
■ 日本館建築模型のご紹介

前号にて日本館工事の進捗状況をご報告しましたが、今号では、建築において大切な役割を果たしている日本館の模型をご紹介します。100分の1サイズの本模型の制作にあたっては、立体木格子などの細部を精密に再現するため3Dプリンターも用いられています。

縦長の形状をした日本館は、正面のデクマヌス（大通り）からつづら折りのスロープが伸び、2階のイベント広場・レストランにつながっています。展示エリアの観覧入口は1階側面に配置されており、来館者の皆さまにはいくつかのゾーンを巡っていただいた後、2階にてメインショーをご覧いただく予定です。このほか、日本館はバリアフリーの対応を含め、様々な方がスムーズにご入館いただけるよう設計されています。



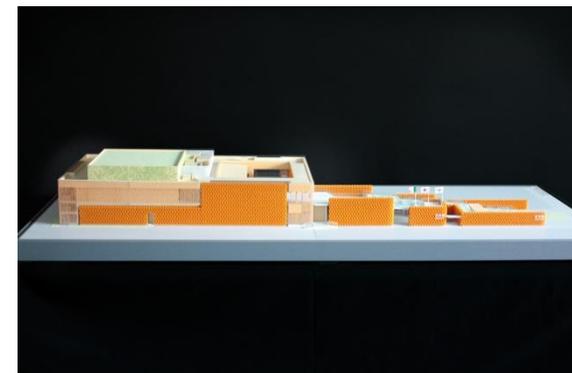
日本館全体像



① イベント広場・レストラン入口（正面・デクマヌス側）



② 展示観覧者入口（側面・セカンダリーパス側）



③ 日本館全体（側面・セカンダリーパス側）

■ミラノ万博公社関連ニュース (日本館)

・横山信一 農水大臣政務官がミラノ万博会場予定地を視察、文化遺産の「和食」をアピール

横山信一 農林水産大臣政務官（役職は当時）は、8月25日にミラノ万博会場予定地を訪問、現地の様子を視察しました。ガッティ参加国部長との会談では、万博のために日本から輸入するヒノキ材などの建材や食料品などについて話し合いました。日本はミラノ万博で、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを追い風に、すでに一般的となっているメニュー以外にもたくさんの日本食があることをアピールし、イタリアやヨーロッパでの日本食人気をさらに高めることを目指します。会談ではガッティ参加国部長から横山政務官にミラノ万博の入場チケットが手渡されました。



■ミラノ万博公社関連ニュース (他館情報)

・アメリカ館が現地に着工式を開催、ケリー国務長官が祝辞を述べる

ミラノ万博のアメリカ館建設予定地にて、7月16日、“American Food 2.0: United to Feed the Planet”をテーマとした、アメリカ館の着工式が行われ、ケリー国務長官、フィリップス在伊米国大使、サーラ ミラノ万博公社代表、ピザピーア ミラノ市長、マローニ ロンバルディア州知事らが参列しました。

ケリー国務長官は、「イノベーションこそがアメリカ人のDNAであり生命線。食の安全における世界のリーダーとして、熱狂する万博に参加できることを誇りに思う。」と述べました。



※本頁に掲載の記事・写真・イラストは、日本館がミラノ万博公社 (Expo 2015 S.p.A.) の許諾を得て使用しています。

■ミラノ万博公社関連ニュース（他館情報）

・イタリア館、ワインパビリオン「Vino a Taste of Italy」のコンセプトを公開

7月28日、イタリア館はパビリオン内に「Vino a Taste of Italy」と題したワインパビリオンを設置することをローマ市内で発表し、コンセプトについての説明会を開催しました。コンセプトは、国際ワイン見本市「VINITALY」と協力し、奥深いイタリアのワインを通じて人と土地との関係を見つめるというもの。イタリアでは、ワイン産地として有名なランゲ・ロエロ・モンフェッラート地域がユネスコ世界遺産に登録されたばかり。

パビリオン内の“la Biblioteca del Vino”（「ワインの図書館」の意）というスペースでは、イタリア全土のワインが並び、購入も可能。プロのソムリエによるワインのテイスティングや、テラスではイベントも行われ、5千年にわたるワインの歴史、イタリアワインにまつわる様々なことを、五感で体験し学ぶことができます。



■ミラノ万博関連イベント

・イタリアで人気の海岸をめぐる「INFO POINT」ツアーが観光客に人気

イタリアでは多くの人々が避暑地で夏を過ごしますが、夏の期間中、ミラノ万博の「INFO POINT」はイタリアの人気リゾート地を巡っています。目印はEXPOロゴの大きなバルーン。ゲームやクイズに参加してもらい、楽しみながらミラノ万博とそのテーマについて知ってもらおうという活動です。エキスポロゴを背景に専用バスで撮ってもらった笑顔あふれるセルフィー（自分撮り）が次々とミラノ万博の公式ウェブサイトに登場しています。



※本頁に掲載の記事・写真・イラストは、日本館がミラノ万博公社(Expo 2015 S.p.A.)の許諾を得て使用しています。

■ミラノ万博関連プロモーション

・「EXPO EXPRESS (万博エクスプレス)」がイタリア国内を縦断し、万博をアピール

ミラノ万博公社、イタリア鉄道による「EXPO EXPRESS」が、8月30日にヴェネツィア・サンタ・ルチア駅から運行を開始。

この列車は、世界中の人々の注目をミラノ・イタリアに集めるであろうミラノ万博を紹介しながら、イタリア国内13都市を縦断します。車内では、万博に関するストーリーを画像や映像、インフォグラフィックを通じて体験できるほか、万博マスコットの「フーディー」にも会うことができます。さらに、イベントやワークショップ、無料クッキングショー、「Women for Expo」のイベントなども開催される予定です。「EXPO EXPRESS」は、第71回ヴェネツィア国際映画祭が開催されるヴェネツィアに到着する12月12日まで、イタリア国内を走ります。



※上記の記事・写真・イラストは、日本館がミラノ万博公社 (Expo 2015 S.p.A.) の許諾を得て使用しています。

■ミラノ市内の様子

ミラノ市内のお店や路面電車、車のステッカーなど、街中の広告や看板もさらに増え、盛り上がりを感じられます。

